

**統計学のセンス**  
- データを見る目、統計手法の選び方、結果の解釈 -  
*Good Taste in Biostatistics*  
*How to look, select and interpret ?*

丹後俊郎 (医学統計学研究センター)

令和3年5月27日(木) PM1 00 PM4 30

2018

A ( )  
B: 2  
7 20  
7

拙著 新版「統計学のセンス」には次のように書かれている

**第Ⅰ部：基礎編**

今日では、どんなデータでも統計ソフトに入力すればいろいろな検定・推定の計算が自由に指定できる。この容易さが誤った統計解析を生む大きな原因となっている。データの取得方法の違いによって解析方法と結果の解釈が異なること、また統計解析すること自体ナンセンスであるデータも少なくないことを理解したい。その意味で、第一部では、最小限これだけは知っていて欲しいと思われる統計学のセンス、多くの研究者が気がついていないと思われる注意事項などを簡潔に解説する。したがって、来週学会があるので急いでデータをまとめなければならない、などと、あせっている読者にもぜひ読んでいただきたい。大きな過ちを犯さないためにも。Walk, don't run !

**第Ⅱ部：アラカルト編**

本編では、研究目的に応じて、データをどのように解析して、どのようにまとめるか、そして最後に、どのように解釈するか、について実際例で解説する。気軽に、しかし、理解できるまで繰り返し読んでセンスを磨いていただきたい。満員電車のなかでつり革にぶら下がりがながらでも十分読破できる内容と信じている。

最近では、AI (人工知能)、ビックデータの解析への期待が高まっているが、過去の大量の診療記録を整理して、データベース化して、AIを応用する、あるいは、ビックデータ解析を行えば、何か素晴らしい結果が得られる、と考えるのは、大きな間違いである。過去の診療記録には魔物が住みついていることに注意しなければならない。本セミナーでは、これらの事項について解説したい。統計ソフトの利用経験はあるが、統計手法は難しい、という方にお勧めです。

